

Mizuho Daily Market Report

2023/1/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	132.23	132.26	+0.38	+1.24
EUR	1.0730	1.0733	+0.0003	+0.0185
AUD	0.6894	0.6889	▲0.0023	+0.0162
SGD	1.3325	1.3318	+0.0013	▲0.0135
CNY	6.7842	6.7795	+0.0076	▲0.1355
MYR	4.3750	4.3725	▲0.0008	▲0.0368
THB	33.53	33.52	+0.03	▲0.88
IDR	15588	15573	+5	▲25
PHP	54.88	54.88	▲0.25	▲0.93
INR	82.06	81.79	▲0.57	▲1.10

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.619%	+8.7 bp	▲12.0 bp
日本(10年)	0.508%	+0.3 bp	+8.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.308%	+8.0 bp	▲8.1 bp
オーストラリア(5年)	3.475%	▲0.8 bp	▲22.2 bp
シンガポール(5年)	2.764%	+3.0 bp	▲7.6 bp
中国(5年)	2.699%	+5.1 bp	+9.3 bp
マレーシア(5年)	3.768%	+0.9 bp	▲0.9 bp
タイ(5年)	1.920%	+0.4 bp	▲7.5 bp
インドネシア(5年)	6.484%	▲6.0 bp	+24.6 bp
フィリピン(5年)	6.433%	▲2.6 bp	▲12.2 bp
インド(5年)	7.175%	▲4.3 bp	▲6.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,704.10	+0.6%	+1.7%
N225(日本)	26,175.56	+0.8%	+0.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,057.46	▲0.3%	+4.5%
ASX(オーストラリア)	4,204.39	▲0.4%	+1.8%
FTSTI(シンガポール)	3,262.91	▲1.3%	+0.5%
SSEC(中国)	3,169.51	▲0.2%	+1.7%
KLSE(マレーシア)	1,485.13	▲0.6%	+0.8%
SETI(タイ)	1,691.41	+0.0%	+0.7%
JKSE(インドネシア)	6,622.499	▲1.0%	▲3.9%
PSE(フィリピン)	6,756.69	▲0.5%	+2.6%
SENSEX(インド)	60,115.48	▲1.0%	▲1.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	268.09	▲0.2%	▲0.8%
金	1,877.03	+0.3%	+2.0%
原油(WTI)	75.12	+0.7%	▲2.4%
銅	8,833.00	+0.0%	+6.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	131.00	—	134.00
EUR/USD	1.0600	—	1.0790
AUD/USD	0.6700	—	0.6980
USD/SGD	1.3290	—	1.3500
USD/CNY	6.7500	—	6.8200
USD/MYR	4.3650	—	4.3980
USD/THB	33.20	—	34.00
USD/IDR	15500	—	15645
USD/PHP	54.70	—	55.40
USD/INR	81.40	—	82.60

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は131円台後半の水準でオープン。中国経済再開への期待を背景にアジア通貨が堅調推移となる中、ドルと円はともに軟調推移。売り買い交錯のなか東京仲値前に132円台前半まで上昇し、仲値後には逆に131円台半ばまで下げる展開。その後は方向感のない推移が継続し、131円台後半の水準で海外時間へ。

海外市場のドル円はハウエル議長講演を控えたドルの買い戻しが入り堅調推移となり、132円台半ばの水準でNYオープン。NY時間朝方に小幅に上昇も、ハウエル議長の講演で特定期待されたような効派な発言がなく、朝方に買われたが売り戻される展開にドル円は131円台後半まで下落する。しかしその後は米金利が上昇する展開に連れドル円も上昇し、132円台半ばまで戻す。NY時間午後はハウマン理事が「金利をピーク水準で暫く維持することを支持」との発言が伝わったが、ドル円の反応は限定的となり、午後は狭いレンジでの推移が続き、132円台前半の水準でクロスした。

【金利】

米債市場ではカーブがベア・スティーブ化。12日のCPIに注目が集まる中、FRB当局者の効派寄りな発言が材料視され、長期ゾーン中心に金利が上昇したとみられる。

【予想】

本日のドル円は動意に乏しい展開を予想。昨日、一部FRB当局者からやや効派寄りな発言が聞かれるも、市場の反応は限定的であった。本日も引き続き注目のイベントは予定されておらず、12日の米CPIを控えた狭いレンジでの推移が継続するか。

【本日の予定】

(日本) 11月 景気動向指数(速)
(日本) 12月 工作機械受注(確)
(日本) 国債入札(30Y)
(アジア) 11月 マレーシア 製造業基本売上高 / 鉱工業生産
(アジア) 11月 豪 CPI / CPIコア平均値
(アジア) 11月 豪 小売売上高
(アジア) 12月 中国 直接投資
(欧州) 11月 伊 小売売上高
(欧州) 11月 愛 不動産価格
(欧州) 12月 独 卸売物価指数
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(10Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。